

広島県・広島市委託業務事業

子どもアドボケート派遣センターひろしま主催

2025年度 第1回 独立アドボケート養成講座

子どものことは子どもに聴こう



会場 広島県東部地域 福山市 福山すこやかセンター
広島県西部地域 広島市西区横川

子どもの権利条約と子どもアドボカシー

〈子どもの権利条約 12条【意見を表す権利】〉 子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、じゅうぶん考慮されなければなりません。(日本ユニセフ協会抄訳)

子どもには意見を表明する権利があります。それは、その意見表明権を保障するための取り組みが「子どもアドボカシー」です。それを実践する人を「アドボケート」と呼びます。アドボケートは独立していて、自身の思いや考えを交えず、100%子どもの立場に立つことが求められます。

日本では、2016年の児童福祉法の改正で子どもが権利の主体として初めて位置づけられ、子どもの「意見が尊重される」ことなどが書き込まれました。2024年4月、同法施行に伴い、国や地方公共団体に対し、子どもの「意見又は意向」の尊重を通じて子どもの権利の擁護につなげる環境の整備を行うことが努力義務とされました。

●子どもアドボカシーとは

子どもたちの声を聴き、意見表明を支援したり代弁したりする活動で、子どもの声を大きくする「マイク役」になることです。様々な権利を侵害されている子どもたちのために、あくまでも当事者である子どもを主体として周囲の人が声を上げていくということです。

●独立アドボケート養成講座

子どもアドボカシーができるように学びあう。子どもアドボカシーに関する基礎的なことから、実践までを学びます。当団体の施設訪問アドボカシーの実践を活かし、施設や地域で子どもの声を聴くおとなの仲間を増やします。

講座終了後は、広島県内・広島市内にある一時保護所や児童養護施設等を訪問し、子どもの話を聴く活動です。



★定員 30名 定員になり次第締め切ります。 受講料 10,000円

お問合せ 子どもアドボケート派遣センター広島

☆電話でのお問合せ 開局時間:月～金 10時～17時

TEL:080-1564-2165

E-mail: advocate.hiroshima@gmail.com

URL: <http://www.advocate-hiroshima.jp>



主催

NPO法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション

〒730-0013 広島市中区八丁堀 7-11 広島YMCA 気付

電話/FAX 082-233-8655 事務局携帯 090-7998-6113

E-mail: hiroshima-childline@fine.ocn.ne.jp

URL: <http://www.hiroshima-childline.or.jp>



意見表明支援員の養成講座プログラム



| 開催日 | 科目名 | 内容 | 時間 | 講師名 |
|----------|------------------------------|--|-------------|--|
| 5月11日(日) | アドボカシーの定義・理念及び種類と役割 | アドボカシーの基礎・理念・6原則 アドボカシーにおける意見表明支援員の役割 | 10:00～12:00 | 川瀬 信一 一般社団法人子どもの声からはじめよう 代表理事・子ども家庭庁参与 |
| | 子どもの権利条約と子どもの権利 | 子どもの権利条約の目的・内容等 | 13:00～15:00 | 喜多 明人 子どもの権利条約ネットワーク代表・早稲田大学文学部名誉教授 |
| | 社会的養護の当事者・経験者から見るアドボカシーの現状 | 社会的養護当事者・経験者から見た社会的養護やアドボカシーの現状 | 15:30～17:00 | 金山 さよ 一般社団法人子どもアドボカシーセンター広島理事・子どもアドボケイト派遣センター広島所属アドボケイト |
| 5月25日(日) | 子どもアドボカシーに関連する法令・養成ガイドラインの内容 | 各自治体における児童福祉行政の理解・アドボカシーの取り組み | 10:00～11:30 | 浦 弘文 弁護士 |
| | 子どもアドボカシーに関連する法令・養成ガイドラインの内容 | 養護施設の実情・性被害 | 12:30～14:00 | 平谷優子・寺西環江 弁護士 |
| | 子ども意見表明支援員の役割と求められていること | 子ども意見表明支援員の役割・目的等 | 14:30～16:30 | 安孫子 健輔 弁護士 |
| 6月8日(日) | 子どもの多様性への理解 | 子どもの発達・子どもの多様性(ジェンダー・LGBTQ、) | 10:00～11:30 | 安達 倭雅子 電話相談員・“人間と性”教育研究協議会幹事 |
| | | 子どもの発達・外国にルーツを持つ子ども達 | 12:15～13:45 | 坪井 智美 日本語学校教師・元広島市教育委員会日本語指導協力者・外国ルーツ児童の母親 |
| | | 子どもの発達・障害等、様々な生きづらさ(トラウマ等)への理解 | 13:55～15:25 | 小野塚 剛 元自閉症協会理事長 |
| | | 子どもの発達・不登校・様々な生きづらさ(トラウマ等)への理解 | 15:35～17:00 | 田邊 恭 フリースクールあいびい代表 |
| 6月22日(日) | 話を聴く(傾聴技法) | 意見形成を行うための技法を身に着けるワーク | 10:00～17:00 | 黄 正国 九州大学留学生センター准教授 |
| | 子どもに向き合う際の基本的な傾聴技法 | 子どもが安心して話せるための態度技法について | | 黄 正国 九州大学留学生センター准教授 |
| 7月13日(日) | 子どもに向き合う際の基本的な傾聴技法 | 施設、一保訪問の際の技術、留意点等について | 10:00～11:00 | 前原 一教 広島県東部子ども家庭センター所長 |
| | | 施設、一保訪問の際の技術、留意点等について | 11:30～12:30 | 赤木 敏史 こぶしヶ丘学園 園長 |
| | アドボケイト活動の実際 | 施設、一保訪問時の実際の活動について(派遣センター組織について) 面接 | 13:30～16:00 | 上野 和子・アドボケイト NPO法人 ひろしまチャイルドライン子どもステーション理事長・子どもアドボケイト派遣センター広島代表 |
| 7月21日(月) | 具体的なワーク | アドボケイトとしての直前研修を行う ロールプレイ、自己覚知のワーク | 10:00～17:00 | 黄 正国・アドボケイト 九州大学留学生センター准教授 |
| 8月 | アドボケイトの実習 | 施設、一保での体験実習(インターンとして現場で体験) | | |

*受講料 10,000 円 定員 30 名 定員になり次第締め切ります。

・申し込みは QR コードから。又は子どもアドボケイト派遣センター広島に電話またはメールにてご連絡ください。